

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2013-45465
(P2013-45465A)

(43) 公開日 平成25年3月4日(2013.3.4)

(51) Int.Cl.
G 0 6 F 3/0354 (2013.01)

F I
G O 6 F 3/033 4 4 3

テーマコード (参考)
5 B 0 8 7

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2012-183929 (P2012-183929)	(71) 出願人	503023069 鴻富錦精密工業（深▲セン▼）有限公司 中華人民共和國広東省深▲セン▼市寶安区 龍華鎮油松第十工業区東環二路2号
(22) 出願日	平成24年8月23日 (2012.8.23)	(71) 出願人	500080546 鴻海精密工業股▲ふん▼有限公司 台湾新北市土城區中山路66號
(31) 優先権主張番号	201110243357.9	(74) 代理人	100108453 弁理士 村山 靖彦
(32) 優先日	平成23年8月24日 (2011.8.24)	(74) 代理人	100064908 弁理士 志賀 正武
(33) 優先権主張国	中国 (CN)	(74) 代理人	100089037 弁理士 渡邊 隆
		(74) 代理人	100110364 弁理士 実広 信哉

最終頁に続く

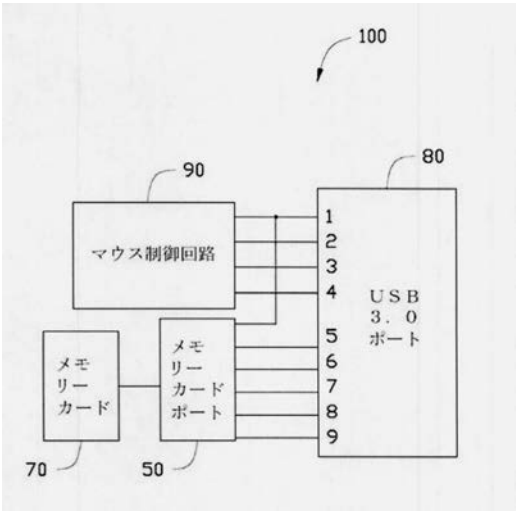
(54) 【発明の名称】 マウス

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】USB 3.0ポートを利用してマウスデータとメモリーカードデータを同時に転送することができるマウスを提供する。

【解決手段】マウス100は、ピン1～9を備えるUSB 3.0ポート80と、前記USB 3.0ポートのピン1～4に接続されるマウス制御回路90と、前記USB 3.0ポートのピン1及びピン5～9に接続されるメモリーカードポート50と、を備える。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ピン 1 ~ 9 を備える U S B 3 . 0 ポートと、
前記 U S B 3 . 0 ポートのピン 1 ~ 4 に接続されるマウス制御回路と、
前記 U S B 3 . 0 ポートのピン 1 及びピン 5 ~ 9 に接続されるメモリーカードポートと、
を備えることを特徴とするマウス。

【請求項 2】

前記マウスは、前記メモリーカードポートに接続されるメモリーカードをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のマウス。

10

【請求項 3】

前記マウスのハウジングの側面には、前記メモリーカードを差し込むためのスロットが設けられることを特徴とする請求項 2 に記載のマウス。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、マウスに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

U S B 3 . 0 の転送速度は U S B 2 . 0 の 1 0 倍以上であるので、マウスのようない

20

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

しかし、パソコンにとって、データ転送速度に対する要求はサーバーのように高くないので、U S B 3 . 0 ポートを利用してただマウスとパソコンとの間でデータを転送することは浪費である。

【0004】

本発明の目的は、前記課題を解決し、U S B 3 . 0 ポートを利用してマウスデータとメモリーカードデータを同時に転送することができるマウスを提供することである。

30

【課題を解決するための手段】**【0005】**

本発明に係るマウスは、ピン 1 ~ 9 を備える U S B 3 . 0 ポートと、前記 U S B 3 . 0 ポートのピン 1 ~ 4 に接続されるマウス制御回路と、前記 U S B 3 . 0 ポートのピン 1 及びピン 5 ~ 9 に接続されるメモリーカードポートと、を備える。

【発明の効果】**【0006】**

従来技術に比べて、本発明のマウスは、U S B 3 . 0 ポートによって、前記マウスのデータを転送するとともに、メモリーカードのデータも転送することができる。

【図面の簡単な説明】

40

【0007】

【図 1】本発明の実施形態に係るマウスのシステムブロック図である。

【図 2】本発明の実施形態に係るマウスの立体斜視図である。

【発明を実施するための形態】**【0008】**

以下、図面を参照して、本発明の実施形態について説明する。

【0009】

図 1 を参照すると、本発明の実施形態に係るマウス 1 0 0 は、U S B 3 . 0 ポート 8 0 と、マウス制御回路 9 0 と、メモリーカードポート 5 0 と、メモリーカード 7 0 と、を備える。

50

【 0 0 1 0 】

前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 は、ピン 1 ~ 9 を備え、USB 3 . 0 規格に準拠して、前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 のピン 1 ~ 4 の機能は、USB 2 . 0 ポートの 4 つのピンの機能と同じであり、前記ピン 1 は、電源ピンであり、前記ピン 2 及び前記ピン 3 は、差動信号を転送するために用いられ、前記ピン 4 は、接地ピンである。前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 の前記ピン 5 及び前記ピン 6 は、差動信号を受信するために用いられ、前記ピン 7 は、接地ピンであり、前記ピン 8 及び前記ピン 9 は、差動信号を送信するために用いられる。

【 0 0 1 1 】

前記マウス制御回路 9 0 の回路及び機能は、従来の技術に係るマウス制御回路と同じである。前記マウス制御回路 9 0 は、前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 のピン 1 ~ 4 に接続され、その接続方式は、従来の技術に係るマウスが USB 2 . 0 ポートに接続する方式と同じである。

10

【 0 0 1 2 】

前記メモリーカードポート 5 0 は、前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 のピン 1 及びピン 5 ~ 9 に接続される。前記メモリーカードポート 5 0 は、前記メモリーカード 7 0 を接続するために用いられる。

【 0 0 1 3 】

図 2 を参照すると、前記マウス 1 0 0 は、ハウジング 4 0 及びスロット 4 8 をさらに備える。本実施形態において、前記スロット 4 8 は前記ハウジング 4 0 の側面に設けられて、前記メモリーカード 7 0 を前記スロット 4 8 に容易に差し込むことができる。他の実施形態において、前記スロット 4 8 は、前記ハウジング 4 0 の他の面に設けられることができる。

20

【 0 0 1 4 】

前記マウス 1 0 0 は、前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 によって、前記マウス 1 0 0 のデータを転送するとともに、前記メモリーカード 7 0 のデータも転送することができる。前記メモリーカード 7 0 は、前記メモリーカードポート 5 0 によって前記 USB 3 . 0 ポート 8 0 に接続されるので、異なる容量のメモリーカードを便利に取り替えることができる。

【 0 0 1 5 】

以上、本発明を実施形態に基づいて具体的に説明したが、本発明は、上述の実施形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において、種々の変更が可能であることは勿論であって、本発明の技術的範囲は、添付の特許請求の範囲によって決まる。

30

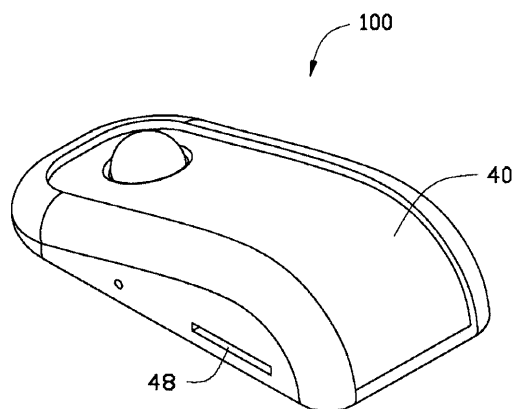
【 符号の説明 】

【 0 0 1 6 】

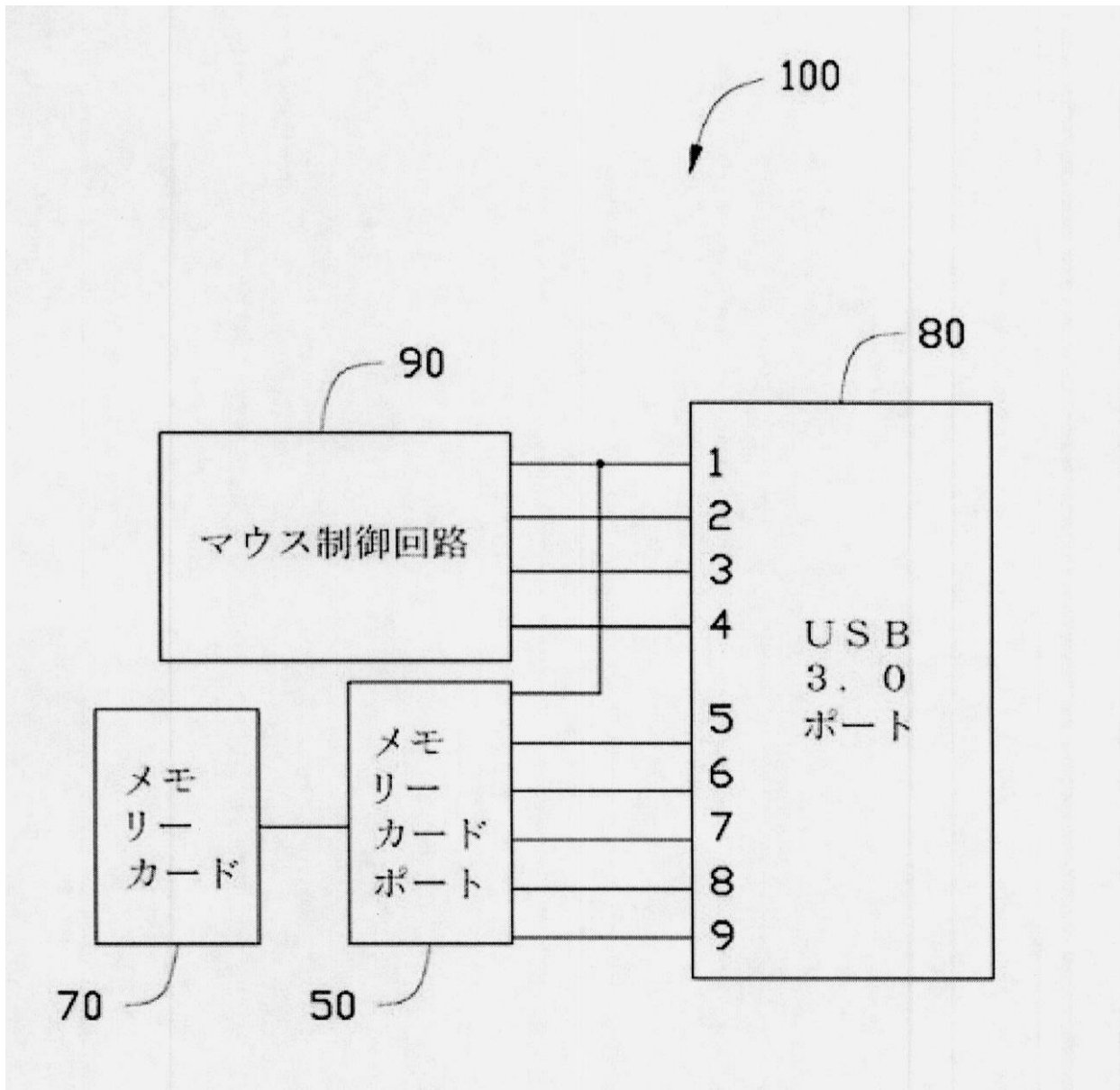
4 0 ハウジング
4 8 スロット
5 0 メモリーカードポート
7 0 メモリーカード
8 0 USB 3 . 0 ポート
9 0 マウス制御回路
1 0 0 マウス

40

【図 2】



【図 1】



フロントページの続き

(72)発明者 ▲イン▼ 曉鋼

中華人民共和国広東省深▲セン▼市寶安區龍華鎮油松第十工業區東環二路2號

(72)発明者 陳 永杰

台湾新北市土城区中山路66号

Fターム(参考) 5B087 AA05 BB12